



避難時にも活用！ グランピング施設

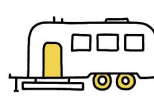
—岐阜県各務原市学びの森—



背景



近年人との密を避けて自然体験できるグランピングが注目されている



通常のキャンプとは異なり、グランピング施設では、あらかじめ宿泊に必要な物が準備されており、トイレやシャワーも備わっている為、初心者でも気軽にアウトドアライフを楽しめる

またグランピングは、近年の豪雨や今後予想される地震といった災害時に避難所的に使えるという点でも注目され始めている

- 災害時に避難所として使える
- 家族やペットを伴うこともできる

グランピングの多様性

しかし現在あるグランピング施設を調べてみたところ、災害時の対策にも配慮したグランピング施設は、調べた限りではないことがわかった。

グランピングとは

グラマラスとキャンピングを組み合わせた造語「魅力的な、あるいは豪華なキャンプ」

ユニットは大型テントやコテージやキャンビン、トレーラー等



提案・目的

日常的には**自然**に触れる観光やレジャー用として活用



自然 

災害時には**避難用**として、あるいは指定緊急避難場所
兼指定避難場所の施設として活用



防災 

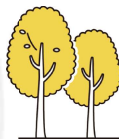
グランピングユニットおよびグランピング施設を提案



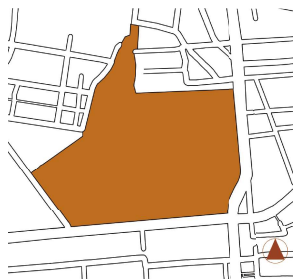
建築が主役ではなく、まわりの自然を主役とし、自然と人のコミュニケーションを大切にする



災害時にもインフラが寸断されても安心して過ごせる空間



対象敷地



Q 学びの森

- 所在地 岐阜県各務原市那加雲雀町10番地の4
名鉄「各務原市役所前」から徒歩約1分
「市民公園前」から徒歩約5分
- 敷地面積 5.8ヘクタール
- 既存建物 公園管理用の倉庫と事務所、市民ギャラリー
カフェテリア、多目的レストルーム
- 駐車場 あり(153台)



- 大正に開設された岐阜高等農林学校の後地(のちの岐阜大学)
- 年に1度マルシェを開催

まちの中心に森を残そうという市民の想いで森から公園へと整備

配置図



対象とするエリアに以下を設ける

- グランピングユニット (キャビンタイプ・コテージタイプ)
- トイレ棟
- シャワー棟
- 管理棟



【コテージ】

- トイレ棟やシャワー棟、管理棟までアクセスしやすい位置に配置
- 傾斜地に配置し、池を上から見下ろすことができる
- 目の前の池を眺めながら静かに過ごせる (ホテルのスイートルームとして想定)

【トイレ棟・シャワー棟・管理棟】

- 3棟いずれも既存建物の外観、内観ともに似せ、グランピング利用者と公園利用者どちらも利用しやすいつくりとする
- トイレ棟は外も中も既存のトイレ棟と似たつくりにし、便器の数を増やすことで家族単位でも利用できるようにする
- シャワー棟は家族利用を考え、多くの個室シャワールームを検討
- 管理棟ではグランピングの事務的スペースに加え、地域のワークショップとして貸し出す部屋や遊び道具の貸し出しを行える



【キャビン】

- 敷地内の開かれた野原に10棟のキャビンをばらばらに配置し、それぞれ違った自然の景色を楽しめる
- トイレ棟やシャワー棟、管理棟を囲むように配置して、アクセスしやすい位置に配置
- 避難所用ユニットを計画

【既存建物】

- 右の2枚の写真は既存のトイレ棟、公園管理用の倉庫
- ユニット以外の建物を既存建物の外観と内部を似せ、まわりとの調和を図る



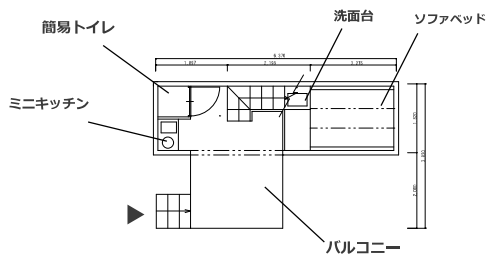
既存建物 トイレ棟



既存建物 公園管理用の倉庫


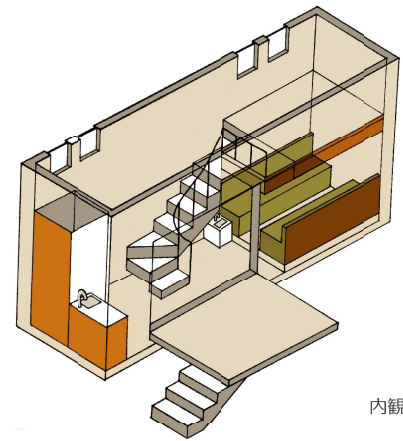
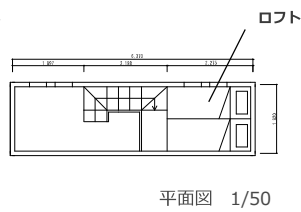
キャビンタイプ

- 簡易トイレ、洗面台、ミニキッチン、ソファベッドを設け、ロフト部分にも就寝場所を設置
- 最低限のもので家族が暮らせるようなミニマムな作りとし、外観も箱のようなシンプルな形状

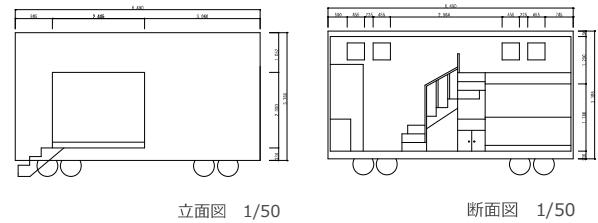


【ロフト】

- ロフト部分に2人分の就寝場所を確保
- 1階にはソファベッドを設置し、1階でも2人分の就寝場所を確保

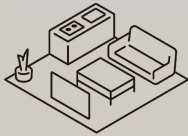



内観パース アイソメ



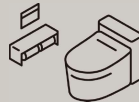
【ミニキッチン・バルコニー】

- 晴れた日はバルコニーで食事ができ、雨の日は階段前のスペースで食事ができる
- 雨の日は収納が可能
- ミニキッチンを配置し簡単な調理ができる



【簡易トイレ】

- 災害時に使えるのはもちろん夜間にトイレ棟に行かなくても利用できる
- プライバシー面と景観面に配慮し、奥に設置

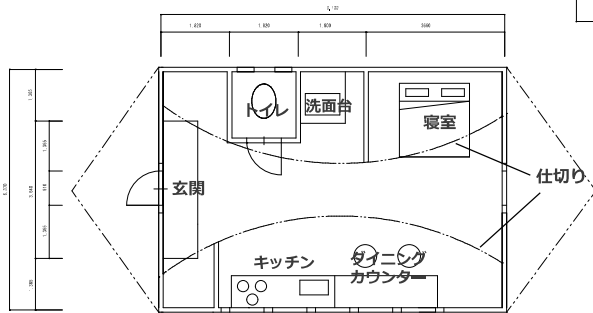


【外観部分】

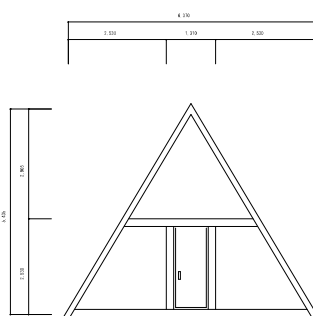
- 屋根部分にはソーラーパネルを設置し、自家発電させる
- ユニットの下部にはタイヤを付け、災害時など必要な時には、車で牽引して移動ができる

コテージタイプ

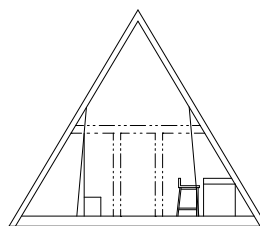
- コテージ内には、トイレ、洗面台、キッチン、ベッドを設け、それぞれのブースには目隠しとなる仕切りを設置
- 外観は、キャンプのテントを想起させるような三角形をモチーフとした。
- スイートルームとして使用



平面図 1/50



立面図① 1/50



断面図 1/50

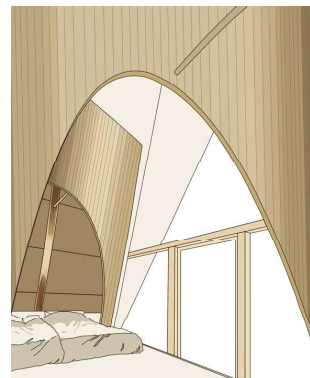
【外観部分①】

- キャンプのテントを想起させるような三角形をモチーフとした
- 側面側は台形とし庇の役割をもつ



【外観部分②】

- 傾斜屋根にはソーラーパネルを付け、日当たりがよい場所に建物を配置し、自家発電できる



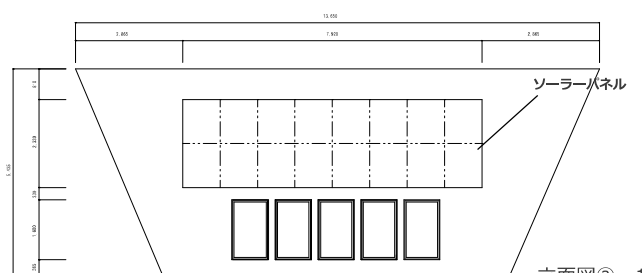
【内部の曲線】

- 室内に「曲線」を取り入れ、その線に沿って視線が動き、窓の外へ自然と視線がいく
- 建築物ではなく、周りの自然が主役となるようにする
- 仕切りの役割



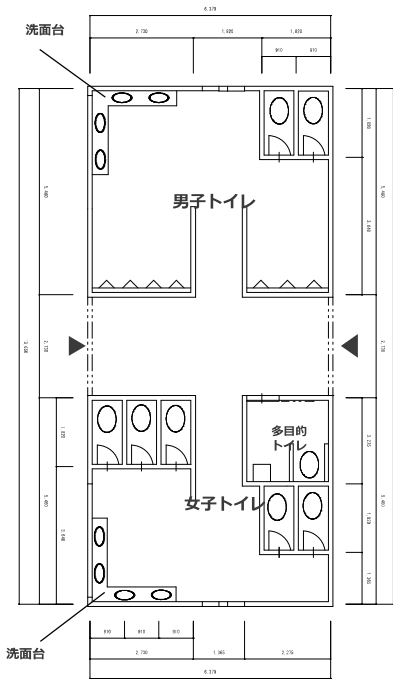
【開口部】

- それぞれの位置に違った大きさの開口部をつけることで、そこからの景色の見え方を変わり、外にある自然が主役となる
- 窓から日光を取り入れることで空調機に頼りすぎない暮らしを期待

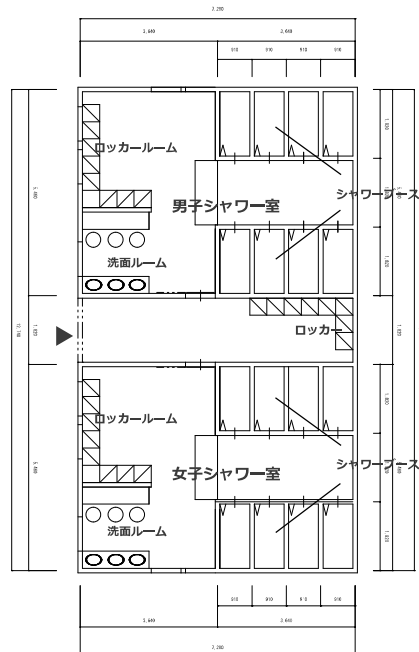


立面図② 1/50

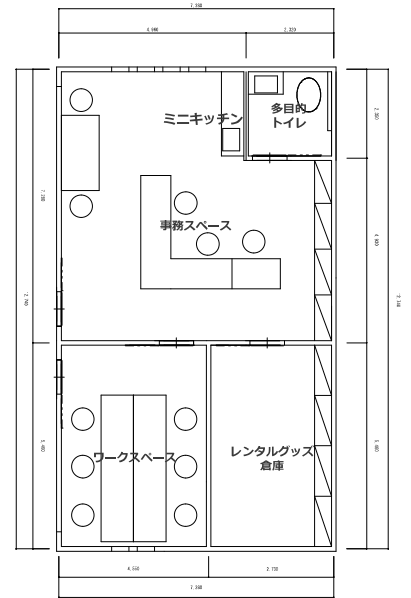
その他の建物



平面図 1/50



平面図 1/50



平面図 1/50



【トイレ棟】

- 男女でトイレを設け、多目的トイレも設置
- 既存の多目的レストルームと調和するような、自然になじむ外観・内部となっている

【シャワー棟】

- 男女でシャワーブースをそれぞれ8つ設け、家族単位での利用を可能にした
- こちらも既存の建物になじむ外観となっている

【管理棟】

- 管理棟には、事務スペース、多目的トイレや会議・ワークスペース、レンタル用道具の倉庫を設ける
- 会議室はワークスペースとしても利用しやすいよう、事務スペースと別の出入口を設けた